



心理学部 心理学科

教授 **杉島 一郎** SUGISHIMAI Ichiro

専門・活動分野 **実験心理学、認知心理学、教育心理学**

最新の研究内容

テーマ： 左右識別困難に関する研究

研究/活動紹介

①背景

とっさに「右」「左」と言われても方向を判断できない、あるいは方向について「右」「左」と言えないことを左右識別困難と呼び、それが頻繁に起こる者を左右識別困難者と呼びます。左右識別困難は障害によるものではなく健常者にも見られます。健常者における左右識別困難者の割合は15～30%です。大きな問題を起こしているわけではありませんが、事故などの危険性は高いと思われます。

②目的

左右識別困難の原因については解明されておらず、ADHD傾向との関係や発達性協調運動障害などの関連性を現在検討中です。その上で、左右識別困難者に左右識別能力を獲得させる方法や左右を判断するためのサジェストとなる手掛りの提案、左右識別困難者にも優しい左右の表示方法などを考えていくことを目的としています。

③成果・効果や展望

この研究を進めることで、事故の防止などにつながる可能性があります。また、左右をわかりやすくすることで、使いやすく、かつヒューマンエラーを減らす製品づくりを行うことができると考えております。今後は、左右識別だけではなくさまざまなユーザビリティに関わる研究へと発展させることを考えています。

<講義中>



<左右識別困難のイメージ>



産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- 認知心理学を土台に応用研究を行っています。たとえば、日本語の表記形態（漢字・ひらがな・カタカナ）に関する研究やASD（自閉スペクトラム症）傾向やADHD（注意欠陥・多動性障害）傾向による認知の違いなどの研究をもとに、日本語におけるわかりやすさや発達障害を持つ人々にもわかりやすい表現や表示を検討しています。多文化共生社会におけるやさしい日本語や、老若男女を問わず誰にでもわかりやすい表示などについてご相談を受けることが可能です。

学会・経歴

- ・日本心理学会会員
- ・日本認知心理学会会員
- ・梅光女学院大学文学部講師を経て仁愛大学人間学部開学時より就任
- ・現在仁愛大学人間学部心理学科教授、大学院人間学研究科長

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp